

カンガルーシップ活動 理解プロジェクト 実施報告書

報告日	平成 27 年 3 月 16 日
学校名	山梨大学教育人間科学部附属特別支援学校
PTA 会長名	中里 明子

実施概要	実施活動名	きりの子バザール（作業学習製品販売会・PTAバザー） （本校への理解を広げるための地域との交流活動）
	実施日時	平成 27 年 2 月 5 日（木）
	実施場所	本校体育館
	実施目的	本校児童・生徒，保護者，福祉施設や地域の方々，製品販売やバザーを通して交流し，支え合いや共生の精神を学び合う。
	実施内容	作業製品販売会，PTAバザー
	実施方法	中・高等部の作業学習の製品販売会と PTA バザーを共催し，そこに県内の福祉施設の出店を合わせて行う。周辺地域にも告知することで，地域の方々に本校の教育活動を知らせ，理解していただく機会とする。
	参加人数	本校：全児童・生徒 55 名 全教師・40 名 PTA・約 50 名 福祉施設の方々：約 50 名 学校近隣の方々：約 50 名

報告事項	内容	中・高等部の作業学習の製品販売会と PTA バザーを共催し，そこに県内の福祉施設の出店を合わせて行った。周辺地域にも告知することで，地域の方々に本校の教育活動を知らせ，理解していただく機会となるよう取り組んだ。
	結果	地域の方々に本校の学習活動について知っていただく機会として，中学部・高等部の作業学習作業班の製品を販売した。作業製品を作るばかりでなく，生徒自身が地域の方々への宣伝活動やきりの子バザール実行委員会を組織して活動することで，活動に主体的に取り組むことができた。保護者を始め福祉施設や地域の方々とも，製品販売やバザーを通して交流を深めることができた。参加された方々からは，生徒の活動への真摯な取り組みに好意的な感想を多くいただいた。
	所感	販売会を通して，様々な方々に生徒の様子や学習活動について知っていただけたことは，生徒理解においても大変よかったと考える。また，地域の方々からも好評であることから，来年度も継続していきたいと考える。

添付書類

カンガルーシップ活動 理解プロジェクト参加感想

提出日	平成 27 年 3 月 16 日		
学校名	山梨大学教育人間科学部附属特別支援学校		
学年		氏名	

○本校児童・生徒の感想：時間の都合上、感想文などを書いてもらうことが難しかったので、販売会終了時や終了後の感想発表の発言の一部を簡単にまとめました。

- ・とても緊張したけど楽しかった。
- ・たくさん製品が売れてよかった。
- ・いろいろな人と話ができて楽しかった。
- ・レジ係や袋詰め係の仕事が上手にできてよかった。
- ・お客さんがたくさん来てくれてうれしかった。
- ・また来年も販売会をやりたいと思った。
- ・欲しい物が買えました。楽しかった。
- ・先生に頼まれた物が買えました。クッキーとジュース、おいしかったです。
- ・買い物上手にできました。

カンガルーシップ活動 理解プロジェクト参加感想

提出日	平成 27 年 3 月 16 日
学校名	山梨大学教育人間科学部附属特別支援学校
氏名	

○保護者の方々の感想：日程の都合上、感想文などを書いてもらったり感想を述べてもらったりすることが難しかったので、会場でインタビューした内容の一部を簡単にまとめました。

- ・毎年楽しみにしている。製品の質が年々上がっているように思った。
- ・子どもたちが一生懸命な姿に感動した。
- ・これからも販売会を続けてほしい。
- ・他学部の活動の様子を知るよい機会となった。
- ・楽しい時間を過ごすことができた。
- ・子どもたちの頑張っている姿をみることができ嬉しく思う。
- ・これからも参加していきたいと思う。







